



marantz®

Integrated Amplifier **HD-AMP1**

取扱説明書

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

目次

使用上のご注意	5
携帯電話使用時のご注意	5
お手入れについて	5
結露(つゆつき)について	5
付属品	6
リモコンについて	7
乾電池の入れかた	7
リモコンの使いかた	7
本機の特長	8
高音質	8
多彩な機能	9
簡単操作	9
各部の名前	10
フロントパネル	10
ディスプレイ	12
リアパネル	13
リモコン	14

接続のしかた

スピーカーを接続する	18
スピーカーを接続する	20
オーディオ再生機器を接続する	21
パソコンと接続する	22
USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する	23
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	25
リモコンの操作をしやすくする	25
マランツ製オーディオ機器をリモート接続する	25
電源コードの接続	26

再生のしかた

基本操作	28
電源を入れる	28
入力ソースを選ぶ	29
音量を調節する	29
一時的に音を消す(ミュートイング)	29
ディスプレイの明るさを切り替える	30
D/A コンバーター機能で再生する	31
パソコンと接続して再生する(USB-DAC)	32
デジタル機器と接続して再生する(COAX/OPT1/ OPT2)	41
iPod を再生する	42
iPod の音楽を聴く	43
オペレーションモードの設定(On-Display モード)	44
リピート再生をする	45
ランダム再生をする	45
iPod の充電	45
USB メモリーを再生する	46
USB メモリーに保存されているファイルを再生する	47
リピート再生をする	49
ランダム再生をする	49
アナログ端子に接続した機器を再生する	50

設定のしかた

メニュー 一覧	51
メニューの操作のしかた	52
S. Direct	53
Bass	53
Treble	53
Balance	53
Filter	54
H/P Gain	54
Dimmer	55
iPodMode	55
AutoStby	55

困ったときは

目次	56
上手な使いかた/こんなときの解決方法	57
故障かな?と思ったら	58
保証と修理について	66

付録

USB メモリーの再生について	68
ファイルの再生順番について	69
フォルダとファイルについて	70
メディアの取り扱いについて	70
D/A コンバーターについて	71
用語の解説	72
登録商標について	74
主な仕様	75
索引	78

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1~2 時間放置してから使用してください。

ステレオ音のエチケッ


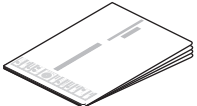
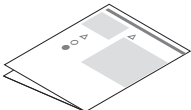
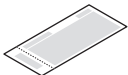

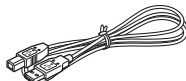
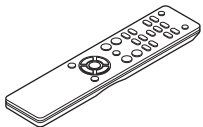



- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

付属品

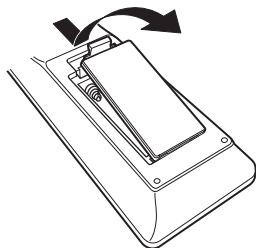
ご使用前にご確認ください。

 <p>かんたんスタートガイド</p>	 <p>取扱説明書(本書)</p>	 <p>安全にお使いいただくために</p>	 <p>保証書</p>	 <p>電源コード【本機専用】</p>
 <p>USB ケーブル</p>	 <p>リモコン</p>	 <p>単4 形乾電池(2 本)</p>		

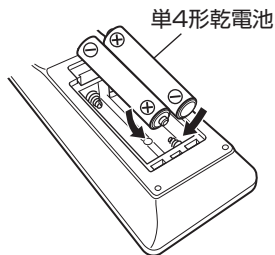
リモコンについて

乾電池の入れかた

① 裏ぶたを矢印の方向に引き上げる。



② 乾電池(2本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



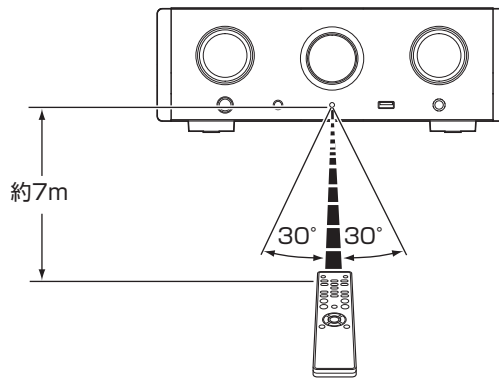
③ 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。



本機の特長

高音質

- **大容量ブロックコンデンサ**

回路には音質検討を重ねたオーディオ用 3,300 μ F 大容量コンデンサを搭載しています。

- **高音質フィルムコンデンサ、電解コンデンサ**

本機では、上級モデルにも使用している高音質フィルムコンデンサやオーディオ用電解コンデンサを採用しています。

- **ディファレンシャル入力のHDAMによるローノイズアンプと高速HDAM[®]SA2 送り出しアンプによる低歪フィルター回路搭載**

- **ダブル・レイヤード・シャーシ**

- **Marantz 独自フィルター技術(MMDF: Marantz Musical Digital Filtering)**

Marantz オリジナルのアルゴリズムによるオーバーサンプリング、デジタルフィルター機能を搭載しています。PCM 入力信号に対応しています。お好みに合わせて2種類の特性を切り替えて使用することができます。

- **高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載**

上級モデルのデザインコンセプトを踏襲し、HDAM[®]SA2 を使用した電流帰還型ボルテージアンプと、無帰還型のダーリントンのパワーバッファによる2アンプ構成としました。これにより、ヘッドホンのインピーダンス変化に対する動的歪みの少ないハイスピード化を実現しました。

- **アイソレーション設計**

本機をパソコンなどの外部機器と接続したとき、本機に外部機器のノイズが流入して音質が低下しないように、USB 入力インターフェイスデバイスのグラウンド回路をオーディオ回路から分離しています。

多彩な機能

- **ハイレゾリューション音源の再生に対応した USB-DAC 機能を搭載**

高解像度のオーディオフォーマットである DSD (2.8/5.6/11.2MHz) や最大 384kHz/32 ビットの PCM ファイルの再生に対応しています。USB-B 接続したパソコンからの高解像度ファイルの高音質再生を実現しています。

- **デジタル音声入力端子(COAXIAL/OPTICAL)を搭載**

外部機器からデジタル音声信号を本機に入力することにより、192kHz/24 ビットまでの PCM 信号を再生できます。

- **USB メモリー(MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/AIFF/DSD)や iPod®/iPhone®の再生に対応**

USB メモリーまたは iPod/iPhone を USB 端子に接続することにより、USB メモリーや iPod/iPhone に保存した音楽ファイルを再生できます。

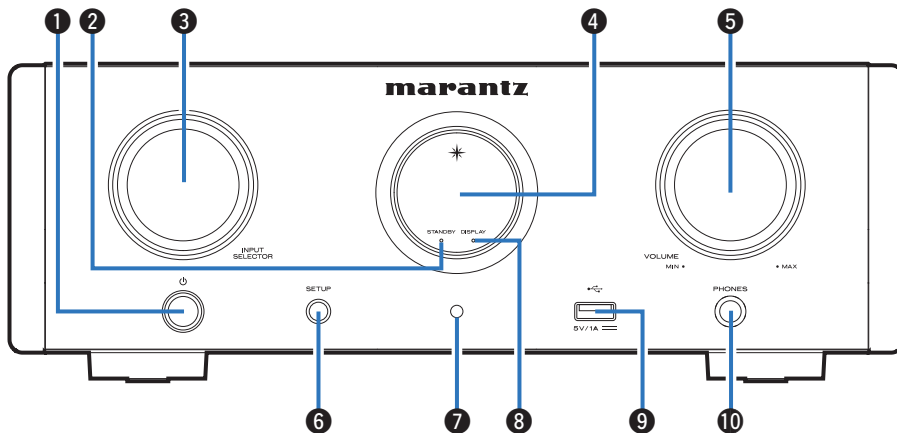
簡単操作

- **スタンバイモード時も iPod®を充電可能(23 ページ)**
- **電力消費を抑えるオートスタンバイモードを搭載**

各部の名前

各部のはたらきなど詳しい説明については、()内のページをご覧ください。

フロントパネル



① 電源ボタン(⏻)

電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(P.28 ページ)

② スタンバイ表示(STANDBY)

本機の状態により次のように変わります。

- 電源オン時: 消灯
- 電源スタンバイ時: 赤色
- iPod の充電スタンバイ時: オレンジ色

③ 入力ソース切り替えつまみ(INPUT SELECTOR)

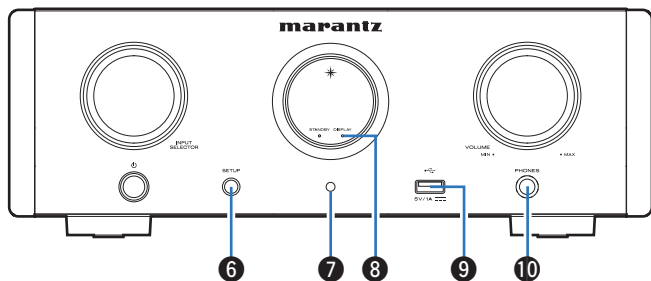
入力ソースを選択します。(P.29 ページ)

④ ディスプレイ

再生状態や入力ソースなどを表示します。

⑤ 音量調節つまみ(VOLUME)

音量を調節します。



⑥ セットアップボタン

本機の設定をおこないます。

⑦ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(P.7 ページ)

⑧ ディスプレイオフ表示(DISPLAY)

ディスプレイが消灯しているときに点灯します。(P.30 ページ)

⑨ USB 端子(USB)

iPod または USB メモリーを接続します。(P.23 ページ)

⑩ ヘッドホン端子(PHONES)

ヘッドホンを接続します。

- ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカー端子やサブウーハー端子から音が出なくなります。
- ヘッドホンを接続すると、“S.Direct” は “On” に設定されます。(P.53 ページ)

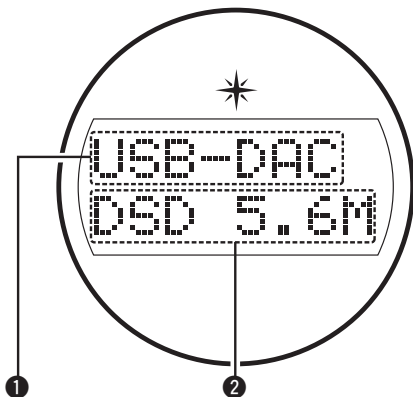
ご注意

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

ディスプレイ

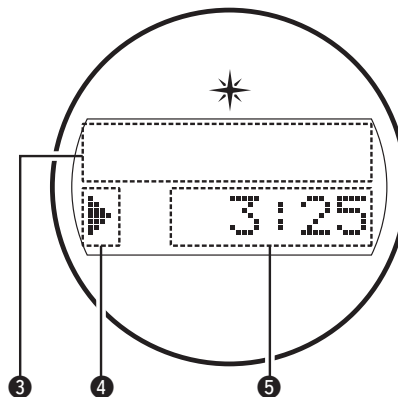
入力ソース名、サンプリング周波数、設定値など、さまざまな情報を表示します。

■ D/A コンバーター表示



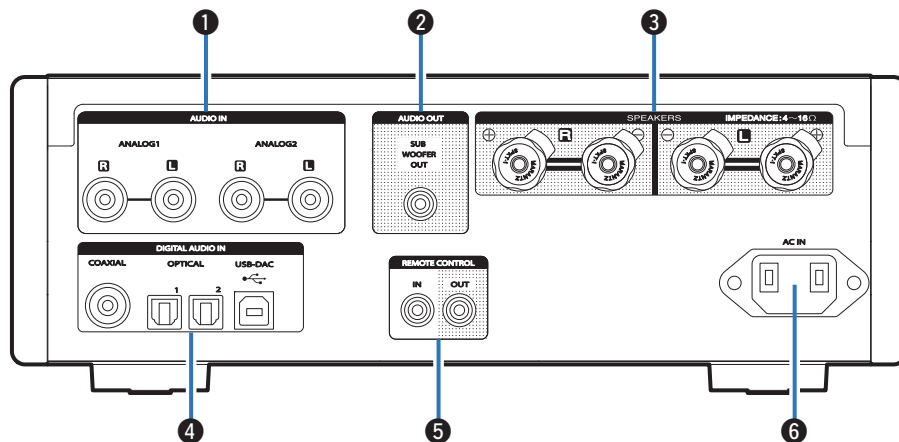
- ① **入力ソース表示**
選択している入力ソース(USB-DAC/COAX/OPT1/OPT2)を表示します。
- ② **サンプリング周波数表示**
入力している音声信号のサンプリング周波数を表示します。

■ iPod/USB 再生表示



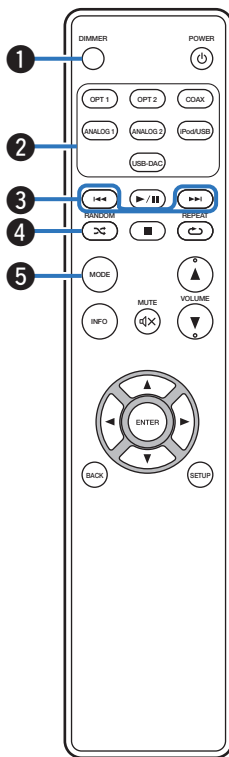
- ③ **インフォメーション表示**
曲情報などを表示します。
- ④ **再生モード表示**
▶:再生中に表示します。
||:一時停止中に表示します。
- ⑤ **時間表示**
再生曲の経過時間を表示します。

リアパネル



- 1 オーディオ入力端子(AUDIO IN)**
アナログオーディオ端子付きの機器を接続します。(P.21 ページ)
- 2 サブウーハー端子(SUBWOOFER OUT)**
アンプ内蔵のサブウーハーを接続します。(P.20 ページ)
- 3 スピーカー端子(SPEAKERS)**
スピーカーを接続します。(P.20 ページ)
- 4 デジタルオーディオ入力端子(DIGITAL AUDIO IN)**
デジタルオーディオ端子付きの機器やパソコンを接続します。(P.21 ページ)
- 5 リモートコントロール入出力端子(REMOTE CONTROL IN/OUT)**
リモートコントロール機能付きのマランツ製品を接続します。(P.25 ページ)
- 6 AC インレット(AC IN)**
電源コードを接続します。(P.26 ページ)

リモコン



① ディマーボタン(DIMMER)

本機のディスプレイの明るさを調節します。(☞ 30 ページ)

② 入力ソース選択ボタン

入力ソースを選択します。(☞ 29 ページ)

③ スキップボタン(◀◀▶▶)

曲の先頭にスキップします。長押しすると、早戻しまたは早送りします。

- 「オペレーションモードの設定(On-Display モード)」(☞ 44 ページ)
- 「USB メモリーに保存されているファイルを再生する」(☞ 48 ページ)

④ ランダムボタン(RANDOM ⚡)

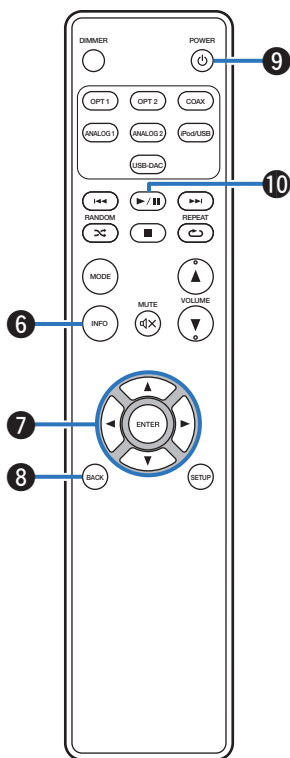
ランダム再生を選択します。

- iPod: 「ランダム再生をする」(☞ 45 ページ)
- USB: 「ランダム再生をする」(☞ 49 ページ)

⑤ モードボタン(MODE)

再生モードを切り替えます。

- 「オペレーションモードの設定(On-Display モード)」(☞ 44 ページ)
- 「USB メモリーに保存されているファイルを再生する」(☞ 48 ページ)



⑥ インフォメーションボタン(INFO)

曲名やアルバム名などを表示します。

- 「オペレーションモードの設定(On-Display モード)」
([P.44](#) ページ)
- 「USB メモリーに保存されているファイルを再生する」
([P.48](#) ページ)

⑦ カーソルボタン(△▽◀▶)

項目を選択します。

- 「オペレーションモードの設定(On-Display モード)」
([P.44](#) ページ)
- 「USB メモリーに保存されているファイルを再生する」
([P.48](#) ページ)
- 「メニューの操作のしかた」([P.52](#) ページ)

⑧ バックボタン

前の項目に戻ります。([P.52](#) ページ)

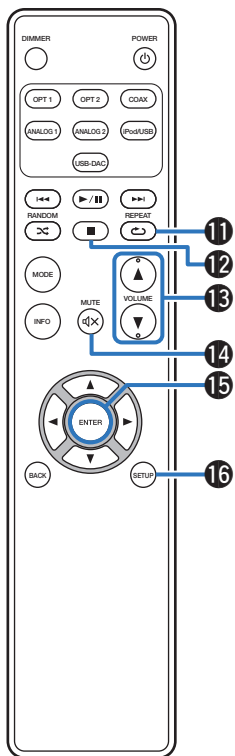
⑨ 電源操作ボタン(⏻)

電源をオン/オフ(スタンバイ)します。([P.28](#) ページ)

⑩ プレイ/ポーズボタン(▶||)

曲を再生または一時停止します。

- 「オペレーションモードの設定(On-Display モード)」
([P.44](#) ページ)
- 「USB メモリーに保存されているファイルを再生する」
([P.48](#) ページ)



11 リピートボタン(REPEAT)

リピート再生をします。

- iPod:「リピート再生をする」([p.45 ページ](#))
- USB:「リピート再生をする」([p.49 ページ](#))

12 ストップボタン(■)

再生を停止します。

- 「オペレーションモードの設定(On-Display モード)」([p.44 ページ](#))
- 「USB メモリーに保存されているファイルを再生する」([p.48 ページ](#))

13 音量調節ボタン(▲▼)

音量を調節します。([p.29 ページ](#))

14 消音ボタン(MUTE)

消音します。([p.29 ページ](#))

15 エンターボタン(ENTER)

選択した内容を確定します。([p.52 ページ](#))

16 セットアップボタン

ディスプレイに設定メニューを表示します。([p.52 ページ](#))

接続のしかた







スピーカーを接続する	18
オーディオ再生機器を接続する	21
パソコンと接続する	22
USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する	23
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	25
電源コードの接続	26

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

■ 接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

スピーカーケーブル	
オーディオケーブル	
リモートコントロール接続ケーブル	
光伝送ケーブル	
同軸デジタルケーブル	
USB ケーブル(付属)	

スピーカーを接続する

ご注意

- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します。
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- スピーカーは、インピーダンスが 4~16Ω のものを使用してください。

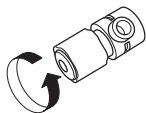
■ スピーカーケーブルを接続する

本機と接続するスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)、+(赤)、-(白)をよく確認して、同じ極性を接続してください。

- 1 スピーカーケーブル先端の被覆を 10mm 程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理をおこなう。



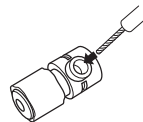
- 2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。



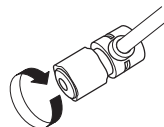
- 3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。



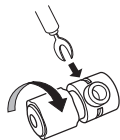
- ワイヤ径: φ5 mm 以下



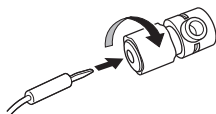
- 4 スピーカー端子を右に回して締める。



Y ラグ端子



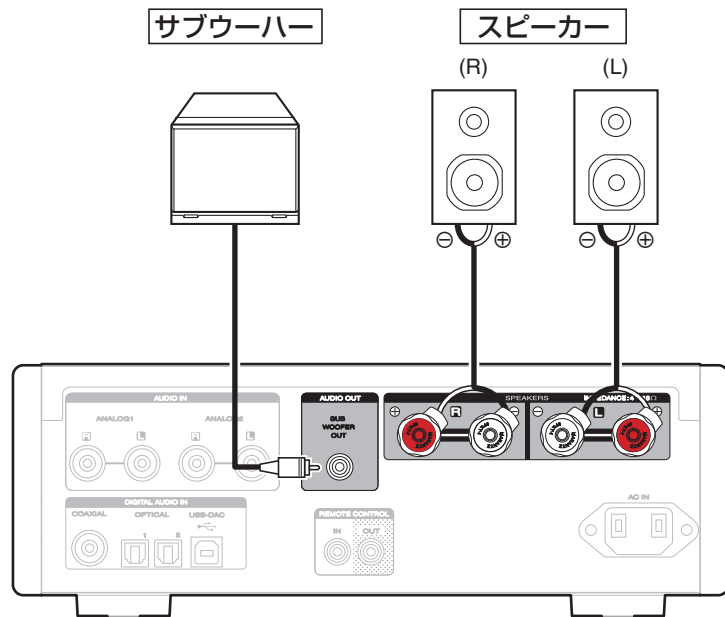
バナナプラグ



ご注意

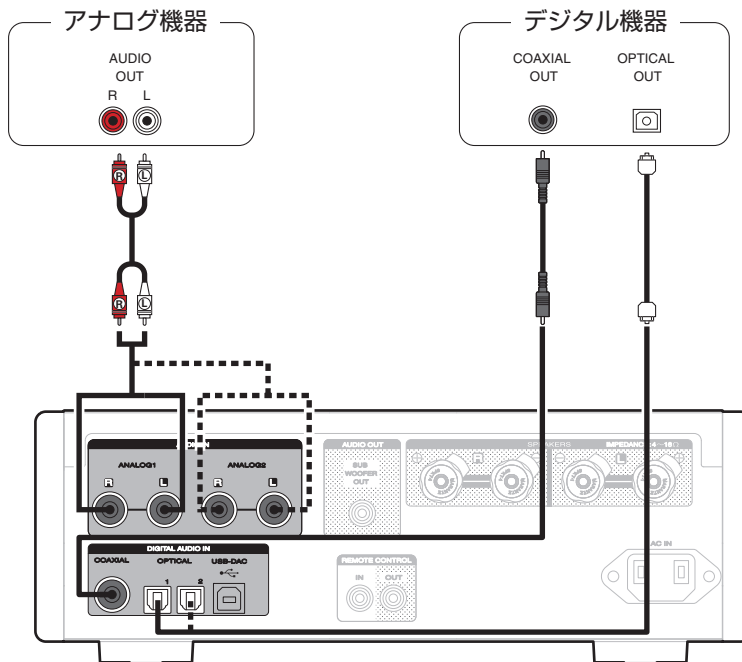
- バナナプラグをお使いになる場合は、端子を右に回して締めつけてから挿入してください。

スピーカーを接続する



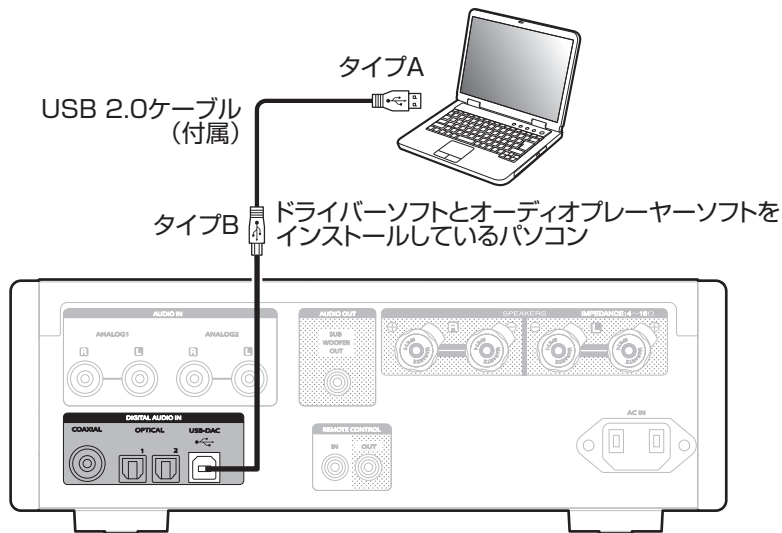
オーディオ再生機器を接続する

オーディオ再生機器(CD プレーヤーやデジタル機器等)を AUDIO IN 端子または DIGITAL AUDIO IN 端子にケーブルで接続します。



パソコンと接続する

本機のリアパネルの USB 端子(USB-DAC)とパソコンを USB ケーブル(付属)で接続すると、パソコンの音楽データを本機の D/A コンバーターで再生できます。(P.32 ページ)



- 本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。(P.32 ページ)
- ドライバーソフトは当社ウェブサイトの HD-AMP1 のページからダウンロードしてください。

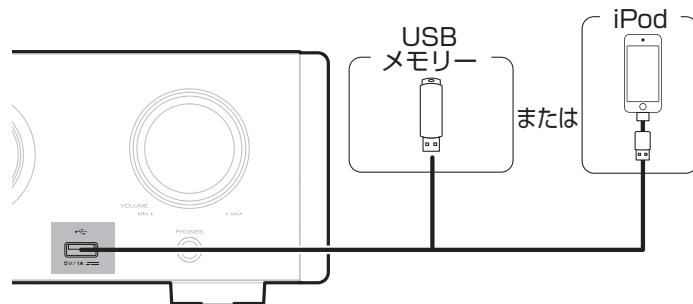
ご注意

- パソコンとの接続には、3m 以下のケーブルをご使用ください。

USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する

iPod/iPhone や USB メモリー内の音楽を楽しむことができます。

- 本機と iPod/iPhone を接続するときは、iPod/iPhone に付属の USB ケーブルを使用してください。
- 操作のしかたは、「iPod を再生する」(P.43 ページ)または「USB メモリーに保存されているファイルを再生する」(P.47 ページ)をご覧ください。



- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機のフロントパネルの USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。パソコンと接続するときは、リアパネルのデジタル音声入力の USB-DAC 端子(タイプ B)と接続してください。
- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。

■ 対応している iPod/iPhone

• iPod classic



iPod classic
80GB



iPod classic
160GB (2007)



iPod classic
160GB (2009)

• iPod nano



iPod nano
3rd generation
(video)
4GB 8GB



iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB



iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB



iPod nano
6th generation
8GB 16GB



iPod nano
7th generation
16GB

• iPod touch



iPod touch
4th generation
8GB 16GB 32GB 64GB



iPod touch
5th generation
16GB 32GB 64GB

• iPhone



iPhone 3GS
8GB 16GB 32GB



iPhone 4
8GB 16GB 32GB



iPhone 4S
16GB 32GB 64GB



iPhone 5
iPhone 5c iPhone 5s
16GB 32GB 64GB



iPhone 6
16GB 64GB 128GB

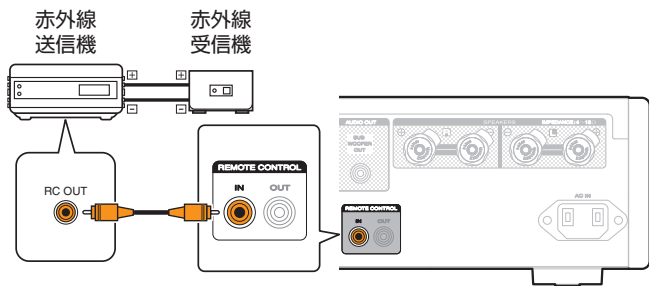


iPhone 6 Plus
16GB 64GB 128GB

リモートコントロール端子付きの機器を接続する

リモコンの操作をしやすくする

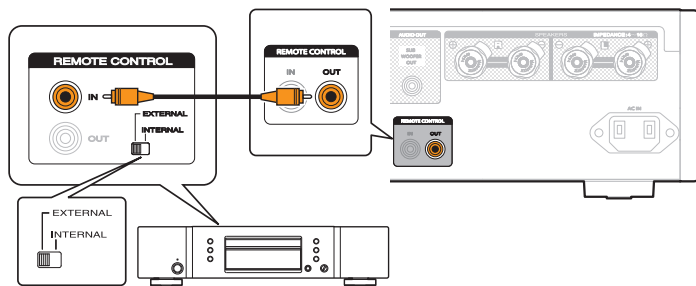
本機をリモコン信号が届きにくい場所(視聴位置の横や後ろなど)に設置しても、別売りのリモコンレシーバーユニットを本機に接続して使いやすい位置に設置することで、リモコンの操作がしやすくなります。



マランツ製オーディオ機器をリモート接続する

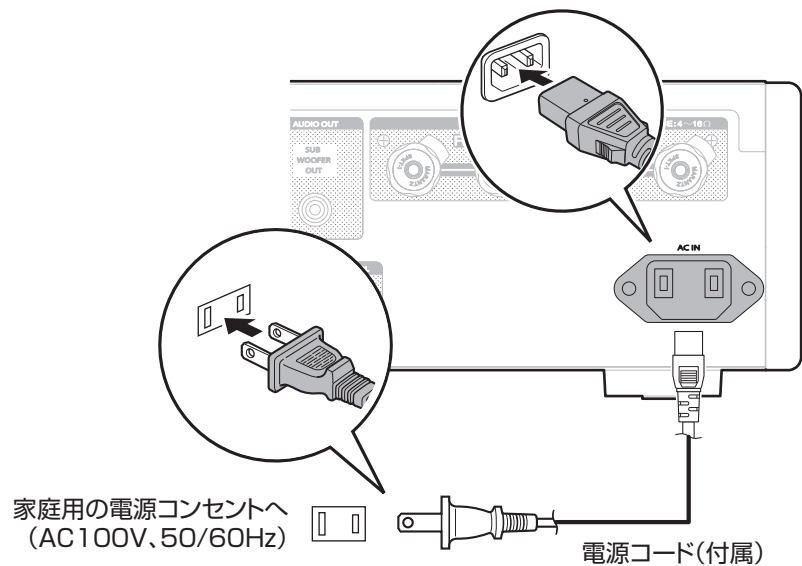
マランツ製オーディオ機器に付属しているリモート接続ケーブルを使用して REMOTE CONTROL IN/OUT 端子に機器を接続するだけでリモコン信号を転送できます。

この接続をおこなう場合は、本機と接続する機器の背面に装備されているリモートコントロールスイッチを“EXTERNAL”に設定してください。



電源コードの接続

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。

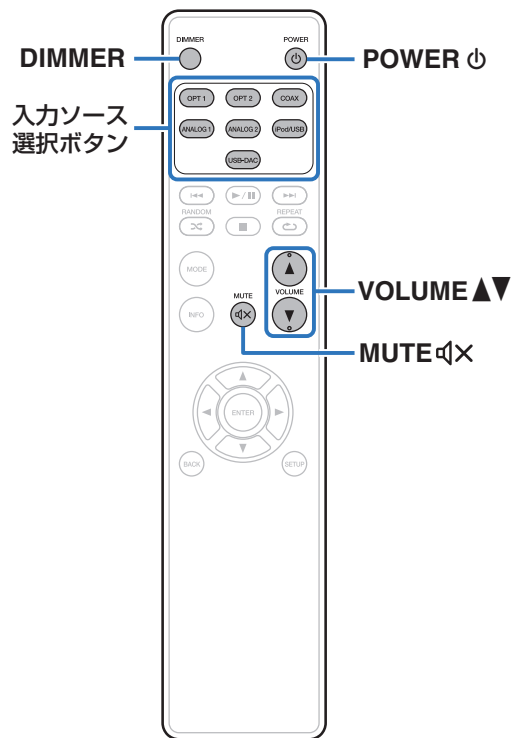


再生のしかた

■ 目次

電源を入れる	28	D/A コンバーター機能で再生する	31
入力ソースを選ぶ	29	iPod を再生する	42
音量を調節する	29	USB メモリーを再生する	46
一時的に音を消す(ミュートィング)	29	アナログ端子に接続した機器を再生する	50
ディスプレイの明るさを切り替える	30		

基本操作



電源を入れる

- 1 POWER を押して、電源を入れる。
スタンバイ表示が消灯します。

電源をスタンバイにする

- 1 POWER を押す。
スタンバイ状態になります。



- 本体の を押しても電源を入れることができます。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

入力ソースを選ぶ

1 再生する入力ソース選択ボタンを押す。

USB-DAC:	パソコンの音楽ファイルを再生します。
COAX:	COAXIAL 端子に接続した機器を再生します。
OPT1:	OPTICAL 1 端子に接続した機器を再生します。
OPT2:	OPTICAL 2 端子に接続した機器を再生します。
iPod/USB:	iPod や USB メモリーを再生します。
ANALOG 1:	ANALOG1 端子に入力したアナログ音声信号を再生します。
ANALOG 2:	ANALOG2 端子に入力したアナログ音声信号を再生します。



- 本体の INPUT SELECTOR を回しても、入力ソースを選択できます。

音量を調節する

1 VOLUME ▲▼ を押して、音量を調節する。




- 本体の VOLUME を回しても、音量を調節できます。

一時的に音を消す(ミュート)

1 MUTE を押す。

ディスプレイに“MUTE ON” を表示します。



- ミュートを解除するときは、もう一度 MUTE  を押してください。

ディスプレイの明るさを切り替える

ディスプレイの明るさを4段階で調節できます。ディスプレイの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 DIMMER を押す。

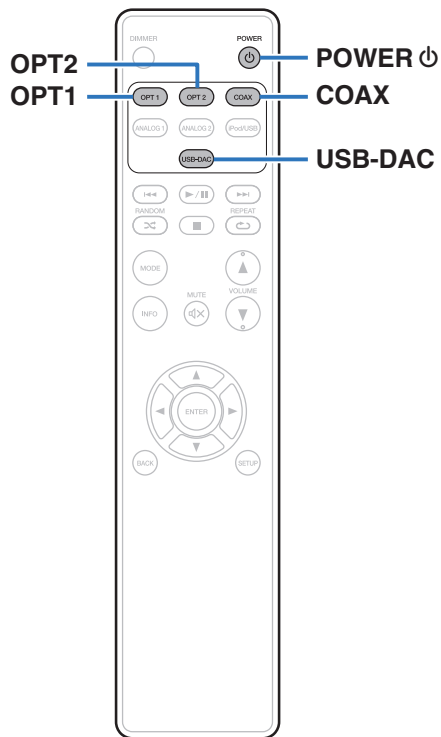


- ディスプレイの明るさを消灯にすると、ディスプレイオフ表示が点灯します。
- 本体の設定メニューでディスプレイの明るさを切り替えることもできます。

ご注意

- 再生中以外に DIMMER を押してもディスプレイは消灯しません。

D/A コンバーター機能で再生する



外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を、本機でアナログ変換して出力できます。(D/A コンバーター機能)

- DSD は、登録商標です。
- Microsoft、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10 は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の登録商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

パソコンと接続して再生する(USB-DAC)

パソコンに保存している音楽ファイルを USB 接続で本機に入力すると、本機に搭載している D/A コンバーターで、高音質な音楽再生をお楽しみいただけます。

- 本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。
- Mac OS をご使用の場合は、ドライバーソフトのインストールは必要ありません。
- パソコンの再生プレーヤーには市販品またはダウンロード可能な好みのプレーヤーソフトをご使用ください。

■ パソコン(動作環境)

OS

- Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10
- Mac OS X 10.9、10.10 および 10.11

USB

- USB 2.0: USB High speed/USB Audio Class Ver. 2.0

ご注意

- 当社ではこれらの動作環境で確認をしていますが、すべてのシステムでの動作を保証するものではありません。

Windows OS

専用ドライバーソフトのインストールのしかた (P.32 ページ)

Mac OS

オーディオ装置の確認のしかた (P.39 ページ)

■ 専用ドライバーソフトのインストールのしかた (Windows OS のみ)

□ パソコンヘドライバーソフトをインストールする方法

1

本機とパソコンの USB 接続を外す。

- 本機とパソコンを USB 接続しているとドライバーソフトを正しくインストールできません。
- パソコンにドライバーソフトをインストールする前に、本機と USB 接続してパソコンを立ち上げた場合、USB 接続を外して、パソコンを再起動してください。

2

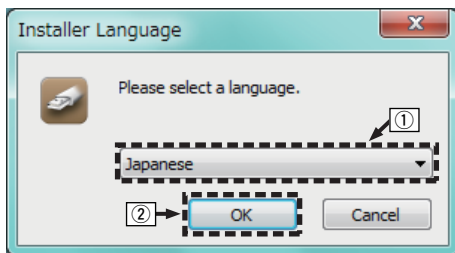
ご使用のパソコンに、当社ウェブサイト HD-AMP1 のページの“ダウンロード”から専用ドライバーをダウンロードする。

3

ダウンロードファイルを解凍し、.exe ファイルをダブルクリックする。

4 ドライバソフトをインストールする。

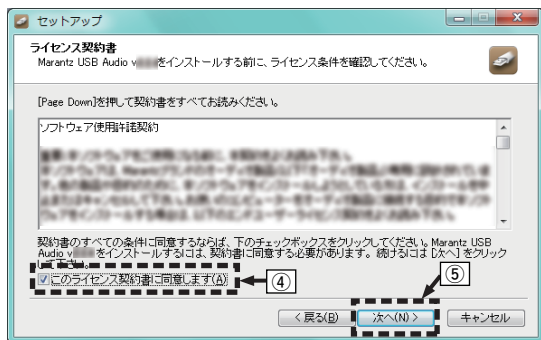
- ① インストール作業をおこなう言語を選ぶ。
- ② “OK” をクリックする。



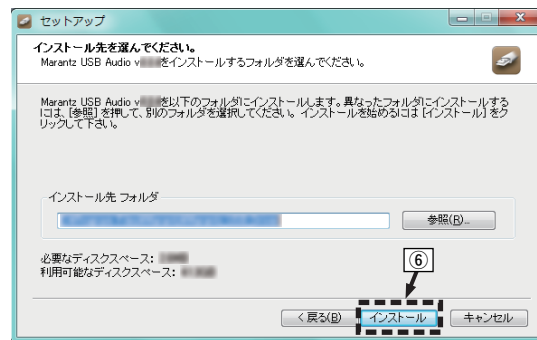
- ③ ウィザードメニューが表示されたら “次へ(N)” をクリックする。



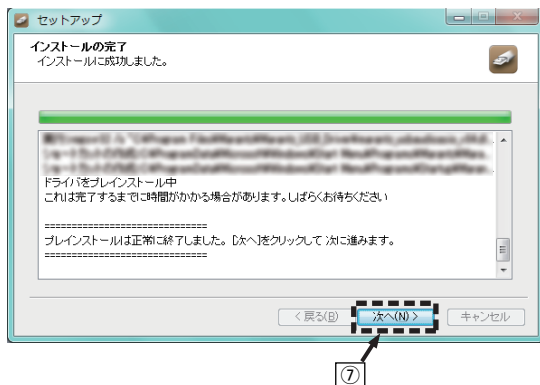
- ④ ソフトウェア使用許諾メニューを読み、“このライセンス契約書に同意します(A)” を選ぶ。
- ⑤ “次へ(N)” をクリックする。



- ⑥ インストール開始ダイアログの“インストール” をクリックする。
- インストールをはじめます。インストールが終了するまでパソコンの操作をしないでください。



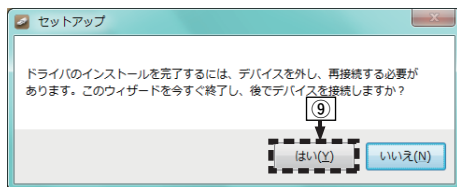
⑦ “次へ(N)” をクリックする。



⑧ インストール終了画面を表示したら“完了(F)” をクリックする。



⑨ “はい(Y)” をクリックする。



5 本機の電源をオフにしたまま、本機とパソコンを USB ケーブル(付属)で接続する。

- 接続のしかたは「パソコンと接続する」をご覧ください。
([P.22](#) ページ)

6 POWER ❷ を押す。

- 本機の電源がオンになると、パソコンは自動的に本機を検出して接続をおこないます。

7 USB-DAC を押して、入力ソースを “USB-DAC” にする。

8 インストールしたドライバーを確認する。

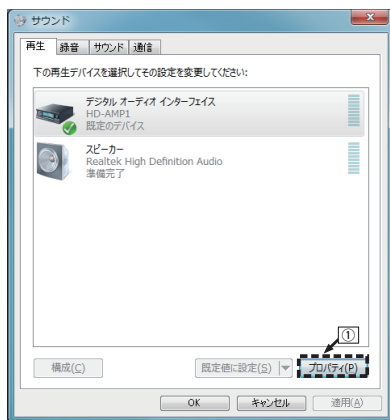
- ① パソコン画面の “スタート” をクリックして、“コントロールパネル” をクリックする。
 - コントロールパネルの設定一覧を表示します。
- ② “サウンド” をクリックする。
 - サウンドメニュー画面を表示します。
- ③ “再生” タブの “HD-AMP1” に “既定のデバイス” のチェックマークがあることを確認する。
 - 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“HD-AMP1” を選択してから “既定値に設定” をクリックしてください。

9 音声出力を確認する。

パソコンからテスト信号を出力して USB-DAC 機能の音声出力を確認します。

① サウンドメニュー画面の“HD-AMP1”を選び、“プロパティ”をクリックする。

- HD-AMP1 のプロパティ画面を表示します。



② “詳細” タブをクリックする。

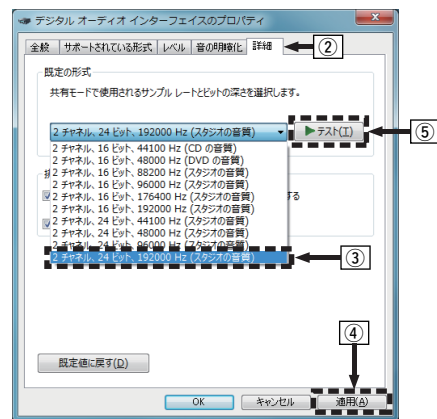
③ D/A 変換をおこなうサンプリング周波数とビット数を選ぶ。

- “2 チャンネル、24 ビット、192000 Hz(スタジオの音質)” に設定することをおすすめします (Windows 7)。
- “2 チャンネル、32 ビット、192000 Hz(スタジオの音質)” に設定することをおすすめします (Windows 8/Windows 8.1/Windows 10)。

④ “適用(A)” をクリックする。

⑤ “テスト(T)” をクリックする。

- 本機からパソコンの音声出力されることを確認します。

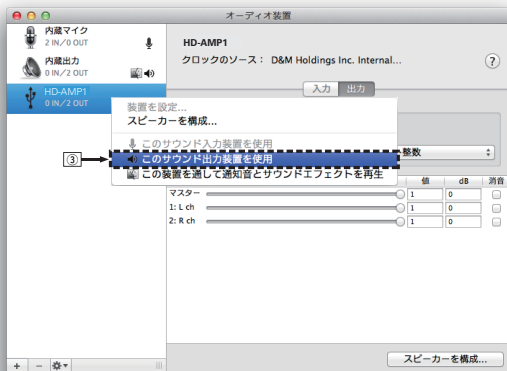


ご注意

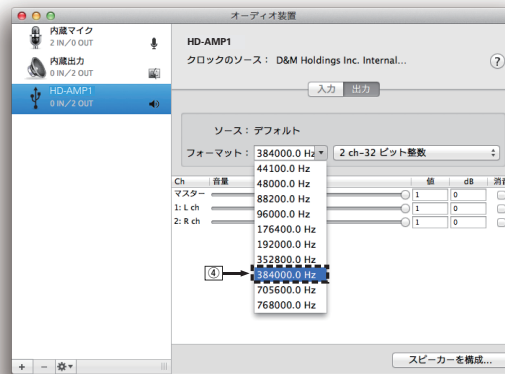
- 専用ドライバーはパソコンと本機を USB 接続する前にインストールしてください。ドライバーのインストール前に本機とパソコンを接続すると正しく動作しません。
- サンプリング周波数 352.8kHz/384kHz のファイルをダウンサンプリングせずに再生する場合は、ASIO(Audio Stream Input Output) ドライバーに対応したプレーヤーソフトが必要です。ASIO ドライバーでの再生は、ご使用のプレーヤーソフトをご確認ください。
- パソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、動作しない場合があります。
- 本機を使用してパソコンからの音楽が正しく再生できない場合、<http://marantz.jp/jp/html/faq.html> の FAQ をご参照ください。また、使用するプレーヤーソフトのサポートページもご確認ください。

■ オーディオ装置の確認のしかた(Mac OS Xのみ)

- ① パソコン画面の“移動”にカーソルを合わせ、“ユーティリティ”をクリックする。
 - ユーティリティの一覧を表示します。
- ② “Audio MIDI 設定” をダブルクリックする。
 - “オーディオ装置” 画面を表示します。
- ③ “HD-AMP1” に、このサウンド出力装置を使用のチェックマークがあることを確認する。
 - 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“HD-AMP1” を選択してから副ボタンクリックして、“このサウンド出力装置を使用” を選択してください。



- ④ “HD-AMP1” のフォーマットを選択する。
 - “384000.0Hz”、“2ch-32 ビット整数” に設定することをおすすめします。



- ⑤ AudioMIDI 設定を終了する。

■ 再生

あらかじめご使用のパソコンにお好みのプレーヤーソフトをインストールしてください。

本機のリアパネルの USB 端子(USB-DAC)にパソコンを接続してください。(P.22 ページ)

1 USB-DAC を押して、入力ソースを “USB-DAC” に切り替える。

パソコンのプレーヤーソフトで再生をはじめます。

入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。

“USB-DAC
xxxxk” または “USB-DAC
DSD xxxM”

(xxxx はサンプリング周波数を表示します。)

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Unlocked” を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported” を表示します。

■ 再生できるファイルについて

「D/A コンバーターについて」(P.71 ページ)をご覧ください。

ご注意

- 再生、停止などはパソコンで操作してください。本体のボタンおよびリモコンでは操作できません。
- 本機が D/A コンバーターとして機能しているときは、パソコン本体のスピーカーから音声は出力されません。
- パソコンの再生ソフトを起動中に、本機とパソコンの接続を外すと、再生ソフトがフリーズすることがあります。必ず再生ソフトを終了してから接続を外してください。
- パソコン側で異常が発生したときは、USB ケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- 再生ソフトのサンプリング周波数と本機のサンプリング周波数表示が異なることがあります。
- パソコンとの接続には、3m 以下のケーブルをご使用ください。

デジタル機器と接続して再生する (COAX/OPT1/OPT2)

1 COAX、OPT1 または OPT2 を押して、入力ソースを“COAX”、“OPT1” または “OPT2” に切り替える。

入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。

“COAX または “OPT1 または “OPT2
xxxxk” xxxk” xxxk”

(xxxx はサンプリング周波数を表示します。)

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Unlocked” を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported” を表示します。

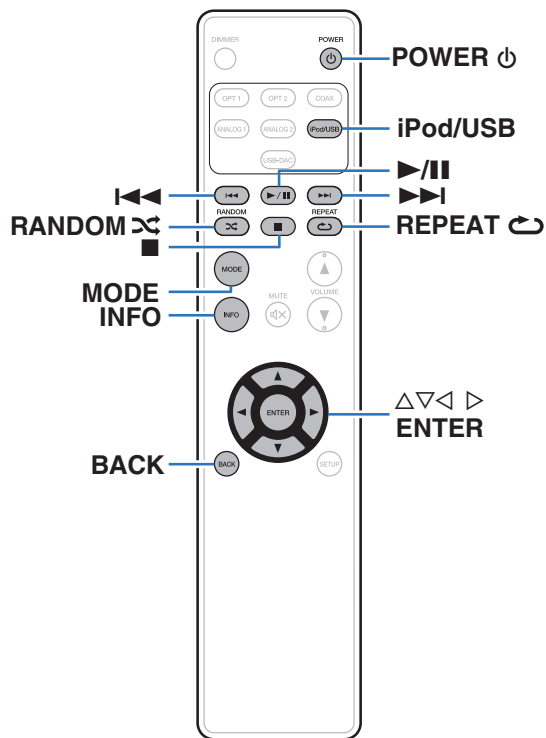
■ 再生できるファイルについて

「D/A コンバーターについて」(P.71 ページ)をご覧ください。

ご注意

- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。
- CS 放送の A モードから B モードなど、サンプリング周波数が切り替わったときには、1～2 秒程度消音になり、音が途切れることがあります。

iPod を再生する



- iPod に付属している USB ケーブルを使用して iPod を本機の USB 端子に接続すると、iPod の音楽を楽しむことができます。
- 本機で再生できる iPod は、「対応している iPod/iPhone」(P.24 ページ)をご覧ください。

iPod の音楽を聴く

- 1 iPod/USB を押して、入力ソースを “iPod/USB” に切り替える。
- 2 iPod を USB 端子に接続する。(P.23 ページ)
本体のディスプレイに “From iPod” を表示します。
- 3 iPod の画面を見ながら直接 iPod 本体を操作して、音楽を再生する。



- iPod の表示モードには、“From iPod” と “On-Display” があります。お買い上げ時の設定は、iPod の画面を見ながら直接 iPod 本体を操作する “From iPod” です。

ご注意

- 万一 iPod のデータを消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
- iPod の種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。

オペレーションモードの設定(On-Displayモード)

iPod の各種リストや再生中の表示を本機のディスプレイに表示します。

ここでは、“On-Display” で iPod 内の曲を再生するまでの手順を説明します。

1 MODE を押す。

本体のディスプレイに “On-Display” を表示します。

2 $\Delta \nabla$ を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押す。

再生をはじめます。

操作モード		From iPod	On-Display
再生できるファイル	音楽ファイル	✓	✓
	映像ファイル	*	
操作できるボタン	本機のリモコン	✓	✓
	iPod	✓	

* 音声のみ再生します。

■ iPod 再生時に使用できるボタン

操作ボタン	機能
MODE	iPod 操作モードの設定 • “From iPod” と “On-Display” を切り替えます。
INFO	テキスト情報表示 • メディアに記録されているテキスト情報を表示します。
$\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$	項目の選択
$\blacktriangleleft \blacktriangleright$	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
$\blacktriangleleft \blacktriangleright$ (長押し)	早戻し/早送り
$\blacktriangleright / \parallel$	再生/一時停止
■	停止
REPEAT ∞	リピート再生 (45 ページ) • 全曲リピートと 1 曲リピートを切り替えます。
RANDOM \times	シャッフル再生 (45 ページ)

リピート再生をする

1 REPEAT を押す。

- 最初に現在のリピート再生モードをディスプレイに表示します。
- ボタンを押すたびに、リピート再生モードが切り替わりません。

Repeat Off (リピートオフ):	リピート再生モードを解除します。
-------------------------	------------------

Repeat One (1 曲リピート):	再生中の曲をリピート再生します。
--------------------------	------------------

Repeat All (全曲リピート):	現在再生中のフォルダにあるすべての曲を リピート再生します。
-------------------------	-----------------------------------

ランダム再生をする

1 RANDOM を押す。

- 最初に現在のランダム再生モードをディスプレイに表示します。
- ボタンを押すたびに、ランダム再生モードが切り替わりません。

Random Off (ランダムオフ):	ランダム再生モードを解除します。
-------------------------	------------------

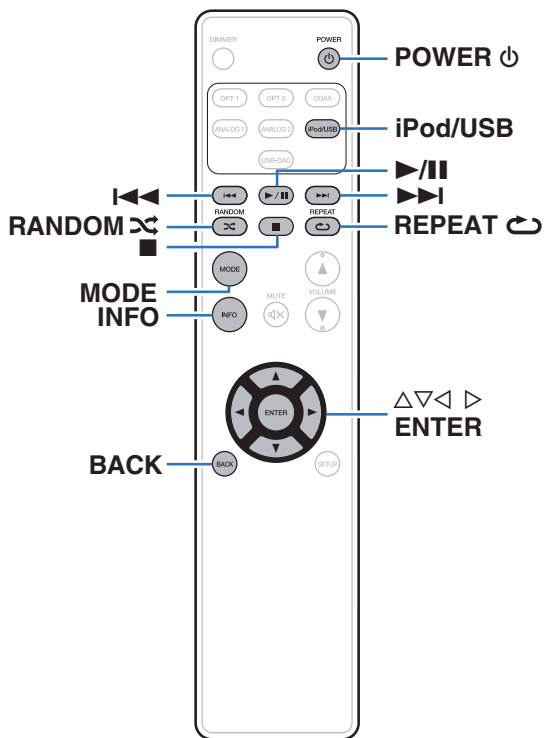
Random On (ランダムオン):	現在再生中のフォルダ内にあるすべての曲 をランダム再生します。
------------------------	------------------------------------

iPod の充電

入カソースを “iPod/USB” に切り替えて USB 端子に接続すると、iPod や iPhone の充電ができます。

- iPod や iPhone を充電中に本機がスタンバイモードに入った場合、スタンバイ充電モードに切り替えて、iPod/iPhone を充電します。
スタンバイ充電モードでは、スタンバイ表示がオレンジ色に点灯します。
充電が完了すると、スタンバイ表示が赤色に変わって通常のスタンバイモードになります。

USBメモリーを再生する



- USBメモリーに保存された音楽ファイルを再生します。
- 本機は、マストレージクラスに対応しているUSBメモリーのみ再生できます。
- USBメモリーは、FAT16またはFAT32フォーマットに対応しています。
- 本機で再生できるファイルは、次のとおりです。
 - WMA
 - MP3
 - WAV
 - AAC
 - FLAC
 - ALAC
 - AIFF
 - DSD

USB メモリーに保存されているファイルを再生する

- 1 iPod/USB を押して、入力ソースを “iPod/USB” に切り替える。
- 2 USB メモリーを本機の USB 端子に接続する。
([P.23](#) ページ)
- 3 MODE を押して、“Folder” または “All” を選ぶ。
 - ディスプレイ表示について
 - “Folder” を選んだとき
選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。
 - “All” を選んだとき
選択したフォルダやファイルを再生したあと、すべてのフォルダ内のすべての曲を再生します。
- 4 Δ / ∇ を押して再生したいファイルまたはフォルダを選び、ENTER を押す。
- 5 Δ / ∇ を押してファイルを選び、ENTER を押す。
再生をはじめます。

■ レジューム機能

本機は再生を一時停止したときに、位置を記録します。本機の電源をオフしたあとに再び電源をオンしたり、別の入力ソースに切り替えたあとに入力ソースを iPod/USB に切り替えると、USB メモリーデバイスはレジュームした位置で一時停止します。

- USB メモリーを取り外してから再び接続してもレジュームしますが、別の USB メモリーを接続すると以前の USB メモリーのレジューム情報は消去されます。
- USB メモリーを取り外してファイルの追加や削除をおこなった場合、レジューム情報が消去されることがあります。
- レジューム情報を消去するには、停止中に **■** を押してください。“Resume Off” と表示されます。

ご注意

- USB メモリー再生中に別のファイルを再生する場合、 \triangleleft を押して階層表示をおこない、 Δ / ∇ を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押します。
- USB メモリーの通信表示が点滅しているときは、USB メモリーを本機から抜かないでください。USB メモリーおよび USB メモリーの記録ファイルが破損することがあります。
- 本機に USB メモリーを接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。

■ USB メモリー再生時に使用できるボタン

操作ボタン	機能
MODE	フォルダ再生モードの切り替え <ul style="list-style-type: none"> • “Folder” と “All” を切り替えます。
INFO	テキスト情報表示 <ul style="list-style-type: none"> • メディアに記録されているテキスト情報を表示します。
◀	1 つ上の階層に移動
△ ▽	項目の選択
ENTER	選択項目の決定/再生
◀◀, ▶▶	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
◀◀, ▶▶(長押し)	早戻し/早送り
▶ /	再生/一時停止
■	停止
REPEAT 🔄	リピート再生(☞49 ページ) <ul style="list-style-type: none"> • 全曲リピートと 1 曲リピートを切り替えます。
RANDOM 🎲	ランダム再生(☞49 ページ)

■ 再生できるファイルについて

「USB メモリーの再生について」(☞68 ページ)をご覧ください。

■ ディスプレイの表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

- 曲名、アーティスト名、アルバム名、ファイル番号および、ファイルフォーマットを切り替えて表示します。
- WAV / AIFF / DSD ファイルを再生しているときは、ファイル名、ファイル番号およびファイルフォーマットを表示します。
- 表示できる文字は次のとおりです。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
 0123456789
 ! " # \$ % & ; : < > ? @ \ [] _ ` { } ~ ^ ' () * + ,
 - . / = (空白)

リピート再生をする

1 REPEAT を押す。

- 最初に現在のリピート再生モードをディスプレイに表示します。
- ボタンを押すたびに、リピート再生モードが切り替わりません。

Repeat Off (リピートオフ):	リピート再生モードを解除します。
-------------------------	------------------

Repeat One (1 曲リピート):	再生中の曲をリピート再生します。
--------------------------	------------------

Repeat All (全曲リピート):	MODE で設定した再生範囲 (Folder/All) にあるすべての曲をリピート再生します。
-------------------------	---

ランダム再生をする

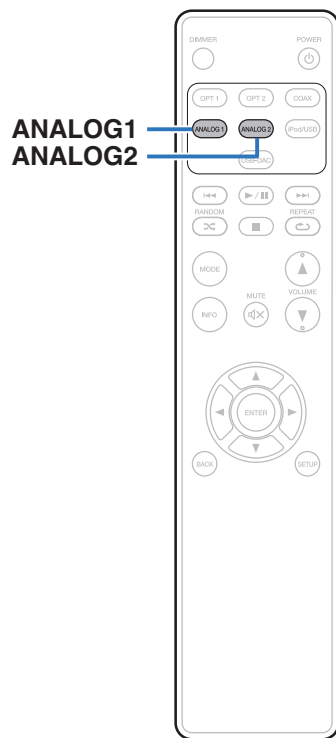
1 RANDOM を押す。

- 最初に現在のランダム再生モードをディスプレイに表示します。
- ボタンを押すたびに、ランダム再生モードが切り替わりません。

Random Off (ランダムオフ):	ランダム再生モードを解除します。
-------------------------	------------------

Random On (ランダムオン):	MODE で設定した再生範囲 (Folder/All) にあるすべての曲をランダム再生します。
------------------------	---

アナログ端子に接続した機器を再生する



- 1 “ANALOG1” または、“ANALOG2” を押して
“AUDIO IN” を選ぶ。
- 2 本機に接続した機器を再生する。

設定のしかた

メニュー 一覧

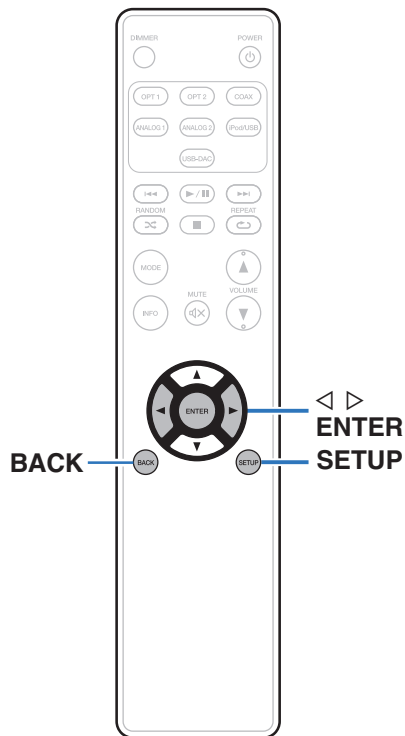
本機はお買い上げ時の設定をおすすめの設定にしてあります。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズすることができます。

設定項目	内容	参照ページ
S.Direct	音質の調節を設定します。	53
Bass	低音を調整します。	53
Treble	高音を調整します。	53
Balance	左右の音量バランスを調節します。	53
Filter	フィルターの特性を切り替えます。	54
H/P Gain	ヘッドホンアンプのゲインを設定します。	54
Dimmer*1	ディスプレイの明るさを調節します。	55
iPodMode*1*2	iPod の操作を本機でおこなうか iPod でおこなうかを設定します。	55
AutoStby	本機が停止状態で何も操作しない状態が 30 分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になるように設定します。	55

*1 本体の SETUP を押したときに表示します。

*2 入カソースが"iPod/USB"で、かつ iPod を接続しているときに表示します。

メニューの操作のしかた



- 1** **SETUP** を押して、設定したいメニューを選ぶ。
SETUP を押すたびに、設定項目が切り替わります。
- 2** **<>** を押して、お好みの設定に変更する。
 - 本体の INPUT SELECTOR を回しても、設定を変更できません。
- 3** **SETUP** または **ENTER** を押して、通常表示に戻す。
 - 本体で設定したあとに 5 秒間操作しなかった場合、通常表示に戻ります。
 - **BACK** を押すと、通常表示に戻ります。

S. Direct

音質を調節するかどうかを設定します。

Off: 音質を調整します。
On
(お買い上げ時の設定): 音質を調整しません。音質調整 (Bass、
Treble、Balance) が無効になります。



• ヘッドホンを接続すると、“S.Direct” は “On” に設定されます。

Bass

低音を調整します。

-8dB~+8dB
(お買い上げ時の設定: 0dB)

Treble

高音を調整します。

-8dB~+8dB
(お買い上げ時の設定: 0dB)

Balance

左右の音量バランスを調節します。

L6 ~ Center ~ R6
(お買い上げ時の設定: Center)

Filter

本機にはお好みの音質で再生をお楽しみいただけるように音質の調節機能を搭載しています。PCM 入力信号に対応しています。

FIL 1
(お買い上げ時の設定):

インパルス応答は、プリエコー、ポストエコー共に短い特性です。音の情報量が多く、奥深い音像や音源の位置関係を明確に再現します。

FIL 2:

非対称インパルス応答と呼ばれる特性を持ったフィルターです。プリエコーに対してポストエコーが少し長めです。アナログ的な音質傾向です。

H/P Gain

ヘッドホンアンプのゲインを設定します。接続するヘッドホンのインピーダンスに合わせて設定してください。ヘッドホンのインピーダンスが低い場合は“LOW”側に、高い場合は“HIGH”側に設定することをおすすめします。

Low
(お買い上げ時の設定): ヘッドホンの音量が大きい場合に設定します。

Mid: ヘッドホンの音量が小さい場合に設定します。

High: ゲイン設定を“MID”にしても、音量が足りない場合に設定します。

ご注意

- “H/P Gain”設定に合わせて、ヘッドホンの音量が変動します。音声を聴きながら設定を変更する場合は、音量を下げてからおこなってください。

Dimmer

ディスプレイの明るさを調節します。

Off: ディ스플레이が消灯します。

Dark: 暗くします。

Dim: 薄暗くします。

Bright
(お買い上げ時の設定): 通常の明るさです。



- リモコンの DIMMER を押しても、ディスプレイの明るさを調節できません。

iPodMode

iPod の操作を本機でおこなうか iPod でおこなうかを設定します。

From iPod: iPod で操作します。

On-Display: 本機およびリモコンで操作します。



- リモコンの MODE を押しても、操作モードを切り替えることができません。

AutoStby

何も操作せずに停止した状態や入力信号がない状態が約 30 分続いた場合に、自動的にスタンバイ状態になるように設定します。

On: 本機をオートスタンバイモードに設定します。

Off
(お買い上げ時の設定): 本機をオートスタンバイモードに設定しません。



- 本機で iPod の充電中に本機の電源をスタンバイにしても、iPod の充電を続けます。

困ったときは

目次

■ 上手な使いかた/こんなときの解決方法

アナログオーディオ再生を高音質で楽しみたい	57
特定のフォルダのみを再生したい	57
USB メモリー再生のレジューム情報を消去したい	57
現在再生している iPod の曲情報(曲名など)を本体のディスプレイに表示させたい	57
好みの音質に調節したい	57
原音に忠実な再生をしたい	57
フィルターの特性を切り替えて音質の違いを楽しみたい	57

■ 故障かな?と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる	58
リモコンで操作ができない	60
本機のディスプレイが表示されない	60
音がまったく出ない	61
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	61
希望する音が出ない	62
パソコン内や Mac 内の音楽ファイルが再生できない	62
デジタル機器の音声を再生できない(Coaxial/Optical)	63
iPod が再生できない	63
USB メモリーが再生できない	64
iPod や USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない	65

上手な使いかた/こんなときの解決方法

アナログオーディオ再生を高音質で楽しみたい

- DIMMER ボタンを押して、ディスプレイの明るさを消灯にしてください。(🔍 30 ページ)

特定のフォルダのみを再生したい

- MODE ボタンを押して、再生モードを“Folder” に設定してください。(🔍 47 ページ)

USB メモリー再生のレジューム情報を消去したい

- 停止中に ■ を押してください。(🔍 47 ページ)

現在再生している iPod の曲情報(曲名など)を本体のディスプレイに表示させたい

- MODE ボタンを押して、表示モードを“On-Display” に設定してください。(🔍 44 ページ)

好みの音質に調節したい

- 設定メニューの“Bass”、“Treble”、“Balance” で好みの音質に調節してください。(🔍 53 ページ)

原音に忠実な再生をしたい

- 設定メニューの“Source Direct” を“On” に設定してください。(🔍 53 ページ)

フィルターの特性を切り替えて音質の違いを楽しみたい

- 設定メニューの“Filter” で好みのフィルターを設定してください。(🔍 54 ページ)

故障かな？と思ったら

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、次の表に従ってご確認ください。

なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でわかりにならない場合は、当社のお客様ご相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

■ 電源が入らない / 電源が切れる

症状	原因 / 対策	関連ページ
電源が入らない。	• コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	26
	• スタンバイモードになっています。本体の ⏻ ボタンを押すかリモコンの POWER ⏻ ボタンを押してください。	28
電源が自動的に切れる。	• オートスタンバイモードがオンになっています。オートスタンバイモードでは本機が停止状態で何も操作しない状態が 30 分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になります。オートスタンバイモードを無効にするには、メニューの “AutoStby” を “Off” に設定してください。	55
電源が切れ、スタンバイ表示が約 2 秒間隔で、赤色に点滅している。	• 機器内部の温度上昇により、保護回路がはたらいています。電源が切れている状態で、1 時間程度待ち、本機の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。	28
	• 本機を風通しの良い場所に設置し直してください。	—

症状	原因 / 対策	関連ページ
電源が切れ、スタンバイ表示が約 0.5 秒間隔で、赤色に点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> • スピーカーの接続を確認してください。スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、芯線が端子から外れたりして、芯線が本機のリアパネルに接触したため、保護回路がはたらいっている可能性があります。電源コードを抜き、芯線をしっかりとよじり直したあとで、接続し直してください。 	18
	<ul style="list-style-type: none"> • 音量を下げ、電源を入れ直してください。 	28
	<ul style="list-style-type: none"> • 本機のアンプ回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。 	—
電源が切れ、スタンバイ表示が約 0.25 秒間隔で、赤色に点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> • 未対応の USB メディアです。動作負荷電流 1A 以下のものをご利用ください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> • 本機から USB 経由で供給できる電力を超えています。電源コードを抜き USB メモリーを外してから、電源を入れ直してください。 	—

■ リモコンで操作ができない

症状	原因 / 対策	関連ページ
リモコンで操作ができない。	• 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。	Z
	• リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。	Z
	• 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。	—
	• 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。	Z
	• 本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)が当たっています。受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。	—
• 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。	—	

■ 本機のディスプレイが表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ディスプレイの表示が消える。	• DIMMER ボタンを押して、消灯以外の設定に切り替えてください。	30

■ 音がまったく出ない

症状	原因 / 対策	関連ページ
音が出ない。または歪む。	• すべての機器の接続を確認してください。	17
	• 接続ケーブルを奥まで挿してください。	—
	• ケーブルが破損していないか確認してください。	—
	• スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。ケーブルの芯線がスピーカー端子の金属部に接触していることを確認してください。	18
	• スピーカー端子をしっかり締めてください。また、スピーカー端子の締めつけがゆるんでいないか確認してください。	18
	• 適切な入力ソースが選択されているか確認してください。	29
	• 音量が最小になっています。音量レベルを適切に調節してください。	29
	• ミューティング(消音)モードを解除してください。	29
• 本体のヘッドホン端子にヘッドホンのプラグを挿入していると、スピーカー端子から音が出なくなります。	11	

■ 音が途切れたり、ノイズが入ったりする

症状	原因 / 対策	関連ページ
パソコンの曲を再生中に音が途切れる。	• パソコンの曲の再生中は、プレーヤーソフト以外のアプリケーションを起動しないでください。	—

■ 希望する音が出ない

症状	原因 / 対策	関連ページ
左右の音量バランスが悪い。	• リモコンのSETUP ボタンを押して“バランス”の調節をおこなってください。	53
サブウーハーから音が出ない。	• サブウーハーの接続を確認してください。	20
	• サブウーハーの電源を入れてください。	—
“Bass” および “Treble” の設定が反映されない。	• “Bass” および “Treble” の設定は、サブウーハー出力には反映されません。	53
	• “S.Direct” を “Off” に設定してください。	53
ヘッドホンの音量が小さい。	• インピーダンスの高いヘッドホンや感度の低いヘッドホンを使用するときは、“H/P Gain” を “Mid” または “High” に切り替えてください。	54

■ パソコン内や Mac 内の音楽ファイルが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
パソコンで本機が認識されない。	• ご使用のパソコンの USB 端子に USB ケーブルを挿し直してください。挿し直しても本機が認識されないときは、別の USB 端子に挿してください。	22
	• ご使用のパソコンを再起動してください。	—
	• ご使用のパソコンの OS を確認してください。	32
	• ご使用のパソコンが Windows の場合は、専用ドライバーのインストールが必要です。	32
再生デバイスとして本機が選択されていない。	• パソコンのサウンド設定で、再生デバイスとして本機を選択してください。	32
“Unlocked” と表示される。	• デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“Unlocked” を表示します。	40
“Unsupported” と表示される。	• 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported” を表示します。パソコンまたはプレーヤーソフトの設定を確認してください。	40
	• ご使用のパソコンが Mac OS の場合は、“Audio MIDI 設定” で、“HD-AMP1” のフォーマットが “384000.0Hz” 以下に設定されているか、確認してください。	39

■ デジタル機器の音声を再生できない(Coaxial/Optical)

症状	原因 / 対策	関連ページ
“Unlocked” と表示される。	• デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“Unlocked” を表示します。	41
“Unsupported” と表示される。	• 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported” を表示します。ご使用のデジタル機器の音声出力信号フォーマットを確認してください。	41

■ iPod が再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
iPod が接続できない。または “Error 1” が表示される。	• USB 端子に iPod を接続してご使用になる場合、対応していない iPod があります。	24
	• iPod の接続に純正以外の USB ケーブルをご使用になると、iPod を認識できない場合があります。純正の USB ケーブルを使用してください。	—

■ USB メモリーが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
“No USB Device”、“Error 1”、“Error 3” または “Error 4” と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 接続不良などで、本機が USB メモリーを認識できない場合があります。USB メモリーを接続し直すなど、接続を確認してください。 	23
	<ul style="list-style-type: none"> マストレージクラスの USB メモリーに対応しています。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは USB 端子に直接接続してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> USB メモリーのフォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> すべての USB メモリーの動作は保証できません。一部の USB メモリーは、認識できない場合があります。また、AC アダプターから電源供給できるタイプの USB 接続対応ポータブルハードディスクをご使用になる場合は、ハードディスクに AC アダプターを接続して使用してください。 	—
USB メモリー内のファイルを表示しない。または、“Error 2” と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。 	68
	<ul style="list-style-type: none"> 本機が表示できるファイル構成は最大 8 階層、フォルダ数は最大 200 個、ファイル数は最大 2,000 個です。USB メモリーのフォルダ構成を変更してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> USB メモリーに複数のパーティションがある場合、先頭のパーティションのファイルのみを表示します。 	—
USB メモリー内のファイルを再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。 	68
	<ul style="list-style-type: none"> 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 再生できないファイルは、“Unsupported” を表示して次のファイルを再生します。 	—

■ iPod や USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ファイル名が“…”など、正しく表示されない。	• 本機で表示できない文字は、“.”(ピリオド)に置き換えて表示します。	—

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間はご購入日から 1 年間です。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料……故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代……修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるためのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

USBメモリーの再生について

■ USB対応ファイルシステム

FAT16 または FAT32

- USBメモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭ドライブのみ選択できます。

■ タグ情報

ID3 タグ(Ver. 1.x と 2.x)

WMA-TAG

AAC-TAG

(タイトル、アーティストおよびアルバムに対応)

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	ビット数	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	48~320 kbps	-	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32~320 kbps	-	.mp3
AAC*1	32/44.1/48kHz	16~320 kbps	-	.aac/ .m4a/ .mp4

	サンプリング周波数	ビットレート	ビット数	拡張子
WAV	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	-	16/24 ビット	.wav
FLAC	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	-	16/24 ビット	.flac
ALAC*2	32/44.1/48/ 88.2/96kHz	-	16/24 ビット	.m4a
AIFF	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	-	16/24 ビット	.aif/ .aiff
DSD (2チャンネル)	2.8/5.6MHz	-	-	.dsf/ .dff

*1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

*2 Copyright [2012] [D&M Holdings, Inc.] Apache License Version 2.0(「本ライセンス」)に基づいてライセンスされます。このファイルを使用するためには、本ライセンスに従わなければなりません。本ライセンスのコピーは下記の URL から入手できます。
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>



- アルバムアートの画素サイズが 1.5MB を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大ファイル数: 2,000 個

最大フォルダ数: 200 個

1 フォルダ内の最大ファイル数: 255



- 本機は、著作権保護のかかっている音楽ファイルのみを再生できません。
- インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

ご注意

- 本機は MP3 プレーヤー、デジタルカメラ、携帯電話などの USB 機器には対応していません。
- 本機は USB 機器の充電に対応していません。

ファイルの再生順番について

音楽ファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときにフォルダ名の順番に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルも、ファイル名の順番に再生します。

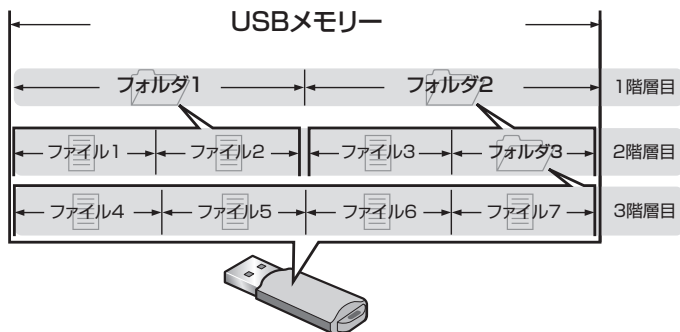
- USB メモリーに記録しているファイルは、第一階層の最初のフォルダにあるファイルを再生したあとに、そのフォルダ内にある第二階層のフォルダ、第三階層のフォルダ・・・の順番に再生し、次に別の第一階層のフォルダを再生します。



- パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。

フォルダとファイルについて

USB メモリーに記録された音楽ファイルは、いくつかの大きな区切り(フォルダ)と小さな区切り(ファイル)に分けられています。ファイルはフォルダに、フォルダはいくつかの階層に分けて記録させることができます。本機は 8 階層まで認識できます。



メディアの取り扱いについて

- USB メモリーの再生中に USB メモリーを抜いたり、本機の電源をスタンバイにしないでください。ファイルが壊れて、故障の原因になることがあります。
- USB メモリーは分解したり、修理したりしないでください。
- 静電気によって、USB メモリーやファイルが壊れることがあります。USB メモリーの金属端子部を指などで触らないでください。
- 変形した USB メモリーを使用しないでください。
- ご使用後は、必ず USB メモリーを外して、ほこりや傷、変形などを避けるため、必ず専用のケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
 1. 直射日光が長時間当たるところ
 2. 湿気・ほこりなどが多いところ
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ

D/A コンバーターについて

■ 再生できる音声フォーマットの仕様

□ USB-DAC

	サンプリング周波数	ビット長
DSD(2チャンネル)	2.8/5.6/11.2MHz	1ビット
リニア PCM(2チャンネル)	44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/352.8/ 384kHz	16/24/32 ビット

□ Coaxial/Optical

	サンプリング周波数	ビット長
リニア PCM(2チャンネル)	32/44.1/48/64/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	16/24ビット

用語の解説

ALAC(Apple Lossless Audio Codec)

Apple 社が開発した音声可逆圧縮方式のコーデックです。iTunes や iPod、iPhone で再生が可能です。約 60~70%に圧縮されたデータは完全に元どおりのデータに再現できます。

DSD(Direct-Stream Digital)

音声データ記録方式の1つで、スーパーオーディオ CD にオーディオ信号を格納する信号形態で、 Δ - Σ 変調されたデジタルオーディオです。2.8 MHz のサンプリングレートの単一ビット値の配列で構成されています。

FLAC (Free Lossless Audio Codec)

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。

FLAC のライセンスについては、次のとおりです。

Copyright (C)

2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

MP3(MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の1つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD レベルの音質を保ったまま、約 1/11 のデータ容量に圧縮しています。

MPEG(Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。ビデオの規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2 Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2 Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

WMA(Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード(符号化)できます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。

1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことで Ω (オーム) という単位であらわします。

この値が小さいほど大きな電力が得られます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

ビットレート(Bit rate)

ディスクに記録された映像/音声データを 1 秒あたりに何ビットのデータに処理したかを表します。この数値が大きいほど音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなります。

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。

リニア PCM

圧縮していない PCM(Pulse Code Modulation) 信号です。CD の音声と同じ方式ですが、BD や DVD では 192kHz、96kHz、48kHz などのサンプリング周波数を用いており、CD よりも高音質の音声が楽しめます。

登録商標について



"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone, may affect wireless performance. iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle および iPod touch は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

主な仕様

■ オーディオ特性総合

定格出力:	35 W + 35 W(8Ω、20Hz ~ 20kHz T.H.D. 0.1%)
ダイナミックパワー:	70 W + 70 W(4Ω、20Hz ~ 20kHz T.H.D. 0.1%)
出力端子:	スピーカー: 負荷 4~16Ω ヘッドホン/ステレオヘッドホン適合
再生周波数範囲:	2 Hz~96 kHz
再生周波数特性:	2Hz~50kHz(-3dB) (DSD モード、PCM サンプルング周波数: 192kHz) 2 Hz~20 kHz (PCM サンプルング周波数: 44.1 kHz)
SN 比:	105 dB(可聴帯域)
高調波歪率:	0.05 %(1 kHz, 可聴帯域)

- アナログ入力
入力感度/インピーダンス: 200mVrms/22k Ω
- デジタル入力
同軸出力(ピンジャック): 0.5Vp-p/75 Ω
光出力(角型光コネクタ): -27dBm 以上
USB(フロント): USB タイプ A(USB 2.0 ハイスピード)
USB(リア): USB タイプ B(USB 2.0 ハイスピード)

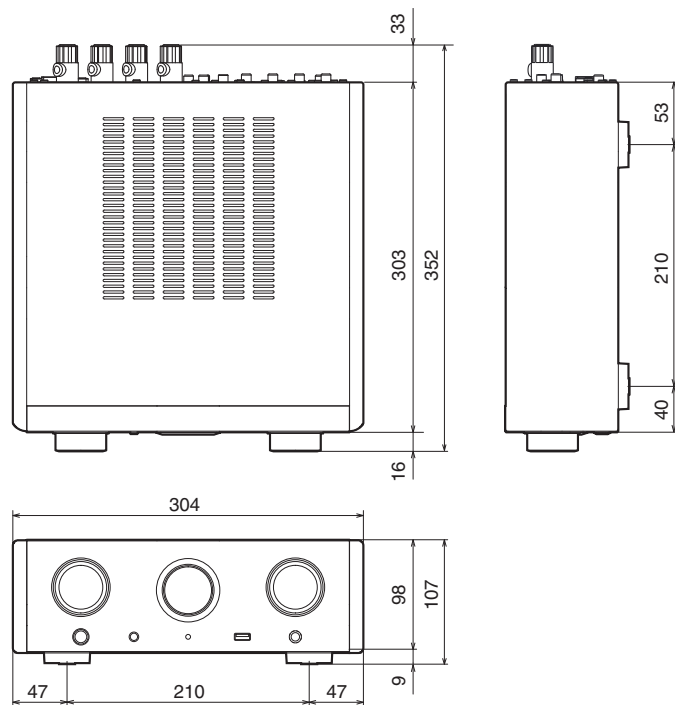
■ 総合

電源電圧/周波数:	AC100V、50/60 Hz
消費電力:	55 W
待機時消費電力:	0.3 W

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法

単位:mm



■ 質量 : 5.8kg

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

索引

🔍 D

- D/A コンバーター機能 31, 71
- DSD 71, 72

🔍 I

- iPod 23, 42, 45

🔍 U

- USB 23, 46
- USB-DAC 22, 31, 71

🔍 て

- ディスプレイの明るさ 30

🔍 に

- 入力ソース 29

🔍 は

- パソコン 22

🔍 ぶ

- フロントパネル 10

🔍 め

- メニュー一覧 51

🔍 ら

- ランダム再生 45, 49

🔍 り

- リアパネル 13
- リピート再生 45, 49
- リモートコントロール接続 25
- リモコン 14




当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

 0570 (666) 112


FAX : 044 (544) 3171

- 受付時間 9:30 ~ 17:30
(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)
- 上記番号をご利用いただけない場合  03 (3570) 5138
〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル
- お問い合わせをいただく前に、ホームページのFAQをご確認ください。
<http://marantz.jp/jp/html/faq.html>
- メールでお問い合わせをいただくこともできます。
<http://marantz.jp/jp/html/contact.html>

* 電話番号・ファックス番号・URLは変更になる場合があります。

修理相談窓口

 0570 (666) 811

- 受付時間 9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 17:30
(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)
- 上記番号をご利用いただけない場合  0466 (86) 9520
- 故障・修理・その他のサービス関連情報については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。
<http://marantz.jp/jp/html/service.html>
- 代表修理窓口
首都圏サービスセンター
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2010-16
FAX : 0466 (86) 9522

* ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。

marantz®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

Printed in Vietnam 5411 11333 20AM

Copyright ©2015 D&M Holdings Inc. All Rights Reserved.